



風薫る5月 青葉若葉の好季節です！



新年度が始まり、1ヶ月が過ぎようとしています。過ごしやすい季節、子どもたちは、毎日元気に学習や運動、遊びにと取り組んでいます。

明日からは本格的なゴールデンウィークですが、それが終わると、学校生活はより本格的に!!! 校外に出て学習する機会が多くなってまいります。直近では、3年生の社会科見学(柏市内めぐり)や5年生の田植え体験があります。楽しみながら、多くの学びがあることを願っています。



言葉をつむぐ時間・・・



学校で児童が怪我(それに準ずるものを含みます)をしたとき、その部位が首から上の場合は、たとえ軽傷と思われても、必ず校長または教頭に報告することになっています。すでに何度か、私のところにも報告があったのですが、とても驚いたことがあるのでお伝えします。

報告には、当該児童と教職員(養護教諭や学級担任など)とでやって来ます。そのとき、まず私は怪我をした児童本人に、「どうしたの? **自分の口で言ってみてね。**」と話すようにしています。すると、ほとんどの子が、怪我をしてしまったときの様子を伝えてくれるのです。最初のとき、私は正直言ってビックリしました!!! これを読んでくださっている保護者の方は、もしかしたら、「えっ?! そんなことで?!」と思われるかもしれませんね。いえいえ!! **何かの様子を大人に頼らず人に伝えることは、けっこう難しい**のです。それができるということは、普段から自分のことは自分で言う習慣が身についているのかな・・・?と、想像しました。すごい!!

自分も含めて、我々大人が心に留めておければ・・・と思っていることに、“**子どもが言葉をつむいでいる時間を大切にしたい**”ということがあります。特に自分が忙しいときなどに、子どもが話している途中で話の先をさえぎってしまうことはありませんか? こちらは大人なので、なんとなくでも話全体の内容がわかることが多いと思います。そのようなときに、「〇〇ってことでしょ?」と先に問いかけてしまうと、子どもは言葉をつむぐことを止めて、「うん。」とうなずくことになるのではないのでしょうか。子どもが小さければ小さいほど、言葉をつむぐ時間は長かかります。でも、**一所懸命に言葉を探してつむいでいる子どもの姿を、どうぞ待っていただきたい**と思っています。少しずつでも、子どもはそうやって成長していくはずですよ。



♡ “まごころ教員” って?!



今年度、本校には“まごころ教員”という教職員が配置されました。聞き慣れない職名ですね。“まごころ教員”とは、**◀登校はできるけれど、教室へスムーズに行けないことがある▶というお子さんが、安心して学校で過ごせるように支援する教員**です。基本的には校内の「OKルーム」という部屋にいます。朝、この部屋で一呼吸ついてから学年の教室に入るお子さんもいれば、活動によって教室とこの部屋を行き来するお子さんもいます。小学校では今年度より配置がスタートし、現在は**小学校42校の内7校**にて支援を行っています。ちなみに、子どもたちの「**まなび(学び)**」と「**こころ(心)**」を大切にしたいという願いから命名されました。



◎ 学校ホームページの構成が若干かわりました。「**学校の様子**」をぜひご覧ください。